

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	保持されていない筒先に送水し、振り上げられた筒先がコンクリートに直撃し破損した事案
3. 体験した事例の中心的要素	筒先員は分岐金具操作員に「放水始め」の合図を出し、構えようとしたところ保持していた手が滑り筒先を地面に落とした。そのまま送水が開始され、保持されていない筒先は大きく振り上げられ付近のコンクリート基礎に直撃し、筒先が破損したものの。
4. 体験した事例の原因・理由	・競技方式の訓練であったため、迅速性を重視していた。 ・安全確認が不十分であった。 ・隊員同士の連携ができておらず、すぐに放水停止を言えなかった。 ・隊員の経験が未熟であった。 ・筒先を落としたことに他の隊員が気づいていなかった。 ・分岐金具の操作員が放水を確認することなく、すぐに金具から離れてしまった。

【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。(誤った手順を取った等)
------------------	---------------------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	令和4年11月27日 午後3時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外:消防本部敷地内 訓練塔西側
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	重傷の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	激突
7. 事例体験時の活動	演習訓練、[火災]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	ホース延長訓練
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

○当事者A	年齢[22]歳、勤続年数[1]年、現場経験年数[1] 年、階級[消防士] 同様の活動 [過去に1,2回程]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[29]歳、勤続年数[7]年、現場経験年数[7] 年、階級[消防士長] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [隊員]
○当事者C	年齢[46]歳、勤続年数[28]年、現場経験年数[28] 年、階級[消防司令] 同様の活動 [], 任務 [その他:安全管理]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	A	分岐金具から50ミリホースを1本延長	
経過2	A	延長したホースに筒先を結合し、分岐金具にいるBへ「放水始め」の合図を送る	
経過3	B	Aに「放水始め」の合図を返し、分岐金具のレバーを操作し送水を開始する。	
経過4	B	次の活動を行うため分岐金具から離れる。	
経過5	A	筒先を構えようとしたところ手が滑り筒先を地面に落とす。	
経過6		そのまま送水が開始され、筒先が振り上がる。	
経過7		筒先がコンクリート基礎に直撃し破損する。	
経過8	C	分岐金具をシャットする。	
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

● ●

○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合:ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、事故にならなかった

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

○活動環境の対策について

--

○指揮・情報伝達の対策について

--